

● 2024年度 夏期 短期留学プログラム
募集要項:プログラム編 ①
【申込抽選】 Global Fieldwork Project

◆ 募集要項の確認

対象コース掲載の募集要項:プログラム編と同時に、「募集要項:申込要件」の記載内容を十分確認・理解の上、プログラムへの申込をご検討ください。

※ 冊子印刷した要項を、各キャンパスで開催される説明会「留学のキホン」にて配布します。希望者は出席してください。

※ 募集要項の掲載内容に更新・修正があった場合は正誤表とともに最新版の募集要項をホームページにアップします。申込を検討する際は、最新情報を確認してください。

◆ 募集要項:プログラム編 ①の目次

項番・項目名	ページ
A. 申込方法と留意事項	1
B. プログラム編① 掲載コースの関連スケジュール	2
C. Global Fieldwork Project プログラム情報(共通項目)	3-4
D. コース別情報(以下、一覧参照)	5-10

◆ 募集要項:プログラム編 ①の掲載プログラム・コース一覧

	プログラム・コース名		派遣国	募集定員	最少人数	滞在形態	ビザ(日本)
	派遣期間(日本発着)		都市	募集形式	形態	パスポート有効(日本籍)	
Global Fieldwork Project			研修言語				
1	ホーチミン市人文社会科学大学	(英語)	ベトナム	40名	10名	ホテル	不要
	2024/09/08(日)~ 2024/09/15(日)	8日間	ホーチミン	抽選	カスタム	入国時+6ヵ月以上	
2	マレーシア科学大学	(英語)	マレーシア	40名	10名	ホテル	不要
	2024/09/01(日)~ 2024/09/08(日)	8日間	ペナン	抽選	カスタム	入国時+6ヵ月以上	
3	パンニヤサ大学	(英語)	カンボジア	30名	10名	ホテル	要
	2024/09/01(日)~ 2024/09/08(日)	8日間	プノンペン	抽選	カスタム	入国時+6ヵ月以上	
4	チュラロンコン大学	(英語)	タイ王国	30名	10名	ホテル	不要
	2024/09/08(日)~ 2024/09/15(日)	8日間	バンコク	抽選	カスタム	入国時+6ヵ月以上	
5	ガジャマダ大学	(英語)	インドネシア	30名	10名	ホテル	要
	2024/09/07(土)~ 2024/09/15(日)	9日間	ジョグジャカルタ	抽選	カスタム	入国時+6ヵ月以上	
6	淡江大学	(英語)	台湾	36名	10名	ホテル	不要
	2024/09/01(日)~ 2024/09/08(日)	8日間	台北	抽選	カスタム	出国日まで	

◆ 本募集要項に関する問い合わせ先

※問い合わせ方法などの詳細は、「募集要項:申込要件」表紙に記載しています。

「立命館留学サポートデスク」 TEL: 077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

A. 申込方法と留意事項(募集要項:申込要件「H. 留学プログラムの申込について」もあわせて参照ください。)

A-1 申込方法・申込期間 ※ 申込期間内に、以下 URL または QR コードから申込してください。

【募集形式】 申込者多数の場合 抽選にて決定

【申込フォーム URL】

<https://cw.ritsumei.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20240403153226600348789>

【申込フォーム QR】



【留意事項】

- 申込フォームにアクセスする際に、RAINBOW-ID とパスワードが必要です。
- オンライン申込フォームは、申込期間の開始時間～締切時間のみアクセスいただけます。
- ネットワーク環境の不具合などの理由であっても、締切後の申込受付はいたしません。
- 最終日はアクセス集中で繋がりにくくなる可能性があります。余裕をもってご申込ください。
- 申込は1回限りで、取り直し・修正は出来ません。申請時、不備が無いか十分確認してください。
- 募集要項(申込要件)記載内容を十分確認、理解の上申込してください。

【申込期間】

2024 年 4 月 26 日(金) 12:30 ~ 5 月 7 日(火) 13:00 厳守

※ 【申込抽選】のプログラムは、受入に余裕のあるプログラムのみ、2 次募集を実施することがあります。

2 次募集申込期間(予定): 2024 年 5 月 17 日(金) 12:30 ~ 5 月 20 日(月) 13:00 締切

【併願申込】

同カテゴリー 募集要項:プログラム編 ①コース間でのみ、第3志望まで併願申込が可能です。

※ 第1志望、第2志望、第3志望それぞれの、志望コース名の選択を間違わないように十分注意してください。

※ 第2志望、第3志望で合格した場合も、自己都合による辞退は認められません。十分検討の上申込してください。

A-2 受付完了の確認

申込完了次第、学内メールに申込受付完了メールが届きますので、必ずご確認ください。

※ メールが届いていない場合は受付が完了していません。万が一、締切までに申込を行ったにも関わらず、受付完了のメールが届いていない場合は、以下の期日までに必ず留学サポートデスクにご連絡ください。期日以降の問い合わせは、いかなる事情であっても一切受け付け出来ません。

申込受付完了メール未着の問い合わせ期日: 2024 年 5 月 7 日(火) 13:30

A-3 申込時の Web 環境

申込にあたっては、パソコンの利用を推奨します。

※ mac の場合は、ブラウザを Safari ではなく、Chrome を利用してください。
CAMPUS WEB の推奨環境以外での端末や OS やブラウザ(LINE ブラウザなど)を使用するとエラーが発生する場合があります。推奨環境は URL・QR コードから確認してください。

【推奨環境 QR】

【推奨環境 URL】 <https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=365458>

A-4 必要書類の準備

本要項に掲載のプログラムに申込の際、必要な書類(申込書類)はありません。

※ 申込には、募集要項:申込要件「A. 申込要件の確認」のチェックリストをすべて確認・理解しておく必要があります。費用負担者と合意の上、第2志望、第3志望も含めて、合格した場合は「辞退しない」事を前提に申込してください。

B. Global Fieldwork Project の関連スケジュール

日次	項目
4/26(金)12:30 ~5/7(火)13:00	・ 申込期間 (オンライン申込)
5/10(金)17:00~ ※ manaba+R 配信	・ 合格候補者(抽選結果)発表 (申込金納入に関しての案内) ※ 各プログラム、定員を超える申込者がある場合は、抽選にて決定します。
5/14(火)13:00 迄	・ 申込金納入期限(合格候補者発表された学生対象) ※ 期限までの申込金納入により、派遣候補 合格決定 ※ 期限までに申込金の納入が無い場合は、「辞退」とみなして 抽選結果による次点候補者へ、派遣候補繰上の連絡をいたします。 ● 本要項掲載プログラムの申込金は、50,000 円です。
5/16(木)17:00~ ※ manaba+R 配信	・ 合格発表(【書類選考】プログラムの合格者含む) ・ 合格者の手続きについて案内動画配信 ※ 繰上合格候補者は、この時点で申込金に関しての案内を確認してください。
5/25(土) 終日 ※ 対面 衣笠キャンパス	・ 合格者ガイダンス (合格者の手続きについての留意点案内) ・ 参加コース別の諸手続きについて案内 ・ 参加者交流会(コースごと)
6/4(火)13:00 迄	・ 学内提出書類提出締切(manaba+R レポートから提出) ・ 取扱い旅行社のシステムによるパスポートデータ登録締切 ・ 海外旅行保険の手続(入金)締切 ※ 詳細は合格者手続案内動画、及び合格者ガイダンスにてお知らせします。
6/5(水)18:00-19:00 ※ Zoom Live 参加	・ 保健センターガイダンス (事前に、配信指定動画の視聴) ※ 海外渡航に関する留意点、事前準備 など
6/29(土) 終日 ※ 対面 衣笠キャンパス	・ Global Fieldwork Project 事前研修 ※ グループ別の Fieldwork テーマ打合せなど
7/11(木)18:00-19:00 ※ Zoom Live 参加	・ 危機管理ガイダンス (事前に、配信指定動画の視聴) ※ 海外渡航に関する留意点、事前準備 など
7/13(土) 終日 ※ 対面 衣笠キャンパス	・ 渡航前ガイダンス (プログラム費用の案内、旅のしおり・保険証券等手交) ※ 当日集合・利用航空便・持参荷物・現地事情などに関する案内 など
7/19(金)13:00 迄	・ プログラム費用納入期限 ※ 最終金額等の詳細は、渡航前ガイダンスにて案内します
9/1(日)~ 各コース随時	・ コースごと、現地研修実施 ※ 現地研修までに、協定校バディと Fieldwork 内容打合せ ※ 現地研修終了後、研修報告書提出
9/25(水) 終日 ※ 対面 OIC	・ Global Fieldwork Project 事後研修 ※ グループ別の Fieldwork プレゼンテーションなど

C-1. Global Fieldwork Project プログラム情報(共通項目)

● プログラム概要(Global Fieldwork Project の学びについて)

With コロナ時代を迎えて、一旦停滞していた国際交流は今後急速に進み、現在学生の皆さんが社会に出る頃には、世界は益々グローバル化していると予想されます。そんな中、本学では、感性の豊かな大学生の期間に一度は海外プログラムへ参加し、国際感覚を養っていただきたいと考えています。その第一ステップとして、教職員の引率や現地学生のバディ制度などの充実したサポートにより、経験がある方はもちろん、海外経験の少ない方や、語学にそれほど自信の無い方でも気軽に安心して参加できる「Global Fieldwork Project」を計画しました。約1週間の短期ではありますが、東南アジアを中心とした立命館大学の協定校に協力いただき、立命館大学生と現地学生のグループで、「歴史」「文化」「経済」「食生活」「観光産業」など自分たちの決めたテーマで、協定校の所在都市を縦横無尽にフィールドワークしていただきます。短い期間ではありますが、普通の海外旅行ではなかなか体験できない、現地同年代学生とのディープな交流や、本学参加者との協力と、自主性をもってグループテーマや調査活動のプランを決めて行動する、「体験・体感型 海外留学プログラム」となっています。設定されているコースの都市や文化などを調べて、興味のある国、コースへ参加していただき、自身の意識改革や、学習へのモチベーションを高めて、充実した学生生活、進路や社会進出への成果へつなげてください。

【プログラムの概要】

- ① 立命館大学生は学部・回生の垣根を越えてグループを編成、事前研修でグループテーマや活動内容の打合せ
- ② 出発前に、各グループに現地で協力参加する現地学生(バディ)とWeb等で活動内容の確認
- ③ 現地到着後、訪問国や都市に関わる文化・歴史・社会についての入門的なレクチャーを受講
- ④ 編成グループ(立命館大学生+現地学生)ごと、現地を縦横無尽に調査活動(フィールドワーク) ※約3日間
- ⑤ 調査活動を通して学んだこと、発見したことを、グループごとでまとめて発表準備
- ⑥ 帰国後、事後研修にて、グループごとにまとめた調査内容を発表

● シラバス(「授業の概要と方法」「受講生の到達目標」など)

manaba+R マイページ > シラバス(検索)にて、各コースの「協定校名」を入力して検索、確認してください。

● プログラム 形態	カスタム	● クラス編成	立命館大学生のみにてクラス編成 ※グループ毎に現地学生バディのサポート有
---------------	------	---------	-----------------------------------------

● 事前事後研修	参加者全員対象のガイダンス以外に、成績評価に関わる、参加必須の事前・事後研修を実施します。 【事前研修】 2024年6月29日(土) 終日 ※予定 【事後研修】 2024年9月25日(水) 終日 ※予定 ※ 時間・教室は決定後、manaba+Rでお知らせします。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

● その他 Global Fieldwork Project 申込の際の留意点

過年度、GFP プログラムに参加したことのある学生は、たとえコースが違っても GFP のコースへ申込はできません。

● Global Fieldwork Project 関連の紹介動画

- ・「ホーチミン フィールド調査編」【3:27】 <https://www.youtube.com/watch?v=JVw-kvuxoXo>
- ・「ホーチミン インタビュー編」【10:19】 https://youtu.be/f6MJ5x4_Nr4?si=cd7JsEYnh8KaF3Du
- ・旅行会社 JTB による GFP 魅力紹介【13:43】 <https://youtu.be/pK6bF-yr9bE>

C-2. プログラム開催都市の位置関係



D-1. Global Fieldwork Project ホーチミン市人文社会科学大学 (ベトナム)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。

※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件 「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

ベトナムには首都ハノイとホーチミンに政府直轄の2台国家大学があり、ホーチミン市人文社会科学大学は、ホーチミン市国家大学の構成大学の一つで、ベトナム南部の最高峰の文系総合大学です。ホーチミン市内に2つのキャンパスを持ち、2010年には日本学部を設置、日本語教育にも力を入れています。大学のあるホーチミン市は1975年までは「サイゴン」と呼ばれ、ベトナム戦争時は南ベトナム共和国の首都として、戦争終結の舞台となった場所。古くからベトナム最大の商業都市、経済的中心地として栄えており、フランス統治の影響が残る街並みと、経済成長で建てられた高層ビル群が同居し、めざましく発展するアジアを感じることができる都市です。

●担当教員	羽谷 沙織(国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件 「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	不要	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	ドンコイ通り・サイゴン中央郵便局・サイゴン大教会・ホーチミン人民委員会庁舎 統一会堂・市民劇場・ベンタイン市場・戦争証跡博物館・クチトンネル など		
●食文化の特徴	ベトナム料理は、歴史的に中国やフランスの食文化の影響を受けています。 米を主食とし、肉や魚とともに、野菜とハーブがたっぷり入ってヘルシーなことが特徴です。		
●過年度テーマ例	食文化、ベトナム戦争について、ベトナム国民の平均年齢、日本との英語レベルの違いなど。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:ベトナム航空(VN)

【乗継経由地】:直行便

【出発】:関西空港(9/08/日 朝集合予定)

【帰着】:関西空港(9/15/日 朝解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 20万円～ ② 23万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。

※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。

※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件 「L. 費用について」を参照してください。

また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 5万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません

D-2. Global Fieldwork Project マレーシア科学大学 (マレーシア)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件 「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

マレーシア科学大学は1969年にペナン市に設立された国内ではマラヤ大学に次いで2番目に歴史が長く、QS世界ランキングでも国内2位の国立大学です。自然科学のみならず26の学部と17の研究所を持ち、2022年の英国の教育雑誌の調査でSDG'sの分野において世界4位、アジアでは1位の実績があります。ペナン島はマレー半島の北西部、マラッカ海峡に位置するマレーシア随一のリゾート地としても有名な島です。世界遺産のジョージタウンは、英国植民地時代や東西貿易の拠点を経て中国・インド・西洋など様々な文化の影響を受けたユニークな文化が残るエキゾチックな街で、所在のペナン州は、国内でも2-3番目の経済規模をもつ都市圏です。

●担当教員	LIU SORAYA (国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件 「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	不要	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	世界遺産ジョージタウン(ペラナカン文化関連施設、ムスリムモスク、ヒンドゥー寺院、仏教寺院、ストリートアートなど)、ペナブリッジ、ペナンヒル、バトゥフェリンギビーチ など		
●食文化の特徴	マレー料理の特徴はたっぷりのハーブ&スパイスと、ココナッツミルクを使うこと。 また、マレー系の人々は主にイスラム教徒なので、豚肉やアルコールを一切使用していません。		
●過年度テーマ例	マレーシアの食文化、ペナンの観光産業、ペラナカン文化、マレーシアにおけるイスラム教など。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:マレーシア航空(MH)

【乗継経由地】:クアラルンプール

【出発】:関西空港(9/01/日 朝集合予定)

【帰着】:関西空港(9/08/日 朝解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 24万円~ ② 27万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替、燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、

② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。

※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。

※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件 「L. 費用について」を参照してください。

また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 5万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません

D-3. Global Fieldwork Project パンニャサ大学 (カンボジア)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件 「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

カンボジアは 1975 年から 1979 年の間、ポル・ポト政権がもたらした戦禍によって、多くの若者を失いました。パンニャサ大学はカンボジアが平和を取り戻した 1997 年に設立され、平和な新しいカンボジア社会を構築することを目標に、英語とクメール語を用いたバイリンガル教育を実践している点に特徴があります。キャンパスは、今回の研修場所首都プノンペン以外にもあり、全国展開している大型私立大学です。プノンペンは、カンボジアの首都で、行政・文化・経済の中心地であり、市内の王宮にはカンボジア国王一家が住んでいます。メコン・トンレサップ・バサック川の合流点に位置し、フランス植民地時代の趣も残す自然と調和した美しい都市です。

●担当教員	石川 涼子(国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件 「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	必要 ※詳細はガイドンスにて案内	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	ワットプノン、王宮、シルバーパゴタ、独立記念塔、トゥールスレン虐殺博物館、キリングフィールド ※最終日には夜行バスを利用し、アンコールワットを視察してから帰国する予定です。		
●食文化の特徴	カンボジアの伝統料理は「クメール料理」と呼び、地元の新鮮な魚介類を中心とした食材を使い、色々なスパイスやハーブ、フルーツを使った料理が多く、それぞれに特有の風味があります。		
●過年度テーマ例	ポル・ポト政権と教育開発、大学卒業後のキャリアに関する学生意識の日本・カンボジア比較、グローバル経済がカンボジア社会にもたらすインパクト、観光が与えるカンボジア経済への影響など。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:ベトナム航空(VN) 【乗継経由地】:往路 ホーチミン/復路 ハノイ

【出発】:関西空港(9/01/日 朝集合予定) 【帰着】:関西空港(9/08/日 朝解散予定)

※ 復路はアンコールワット見学後、シムリアップからカンボジアを出国します。
 ※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 25万円~ ② 28万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替、燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。
 ※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。
 ※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件 「L. 費用について」を参照してください。
 また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 5万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

- ・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません
- ・ 最終日エクスカージョン、アンコールワットの見学費用は、参加費用に含まれます。
- ・ 日本国籍参加者のビザ代行申請に関わる費用はプログラム参加費用に含まれます。

● お問い合わせ先:「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

D-4. Global Fieldwork Project チュラロンコン大学 (タイ)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

チュラロンコン大学はタイの首都バンコクに位置する総合大学で、タイ王国初の公立大学として、1917年に創設。大学名の「チュラロンコン」は、タイの近現代教育の立役者である、創設者の父ラーマ5世の名に由来しています。現在は20の学部に加えて約20のカレッジ・研究機関を有しており、タイ国内における最も権威ある大学の一つです。タイは国民の9割以上が仏教徒の仏教国で、総じておおらかで温厚な国民性といわれます。首都バンコクは、マレー半島の付け根、東南アジアのほぼ中心に位置し、金色にきらめく仏教寺院と、近代的な高層ビルが渾然と立ち並ぶエキゾチックな国際都市で、親日家が多いことでも知られ、東南アジアの中で最も日本人が多い都市でもあります。

●担当教員	糸井 貴夕(国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	不要	●参加条件となる予防接種	なし
●主な視察スポット	ワットポー、ワットアルン、ワットプラケオ、チャオプラヤー川、王宮、ワットパークナム、水上マーケット、エラワンミュージアム、エラワン廟、世界遺産アユタヤ遺跡群など		
●食文化の特徴	タイ料理は東南アジアを代表するエスニック料理で、ナンプラー、パクチー、ココナッツミルク、シーズニングソースなどが豊富に使われ、多彩な味わいとスパイスの香りが特徴的な料理です。		
●過年度テーマ例	仏教に着目した日本とタイの違い、バンコクの衣食住について、日本とタイとの市場の違い、日本とタイの仏教の違いは何か、タイの魅力 など。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:タイ国際航空(TG)

【乗継経由地】:直行便

【出発】:関西空港(9/08/日 朝集合予定)

【帰着】:関西空港(9/15/日 朝解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 30万円~ ② 33万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。

※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。

※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。

また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 6万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません

D-5. Global Fieldwork Project ガジャマダ大学 (インドネシア)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

ガジャマダ大学は、インドネシア独立の動きの中で 1949 年に創立された国内で最も歴史のある国立大学で、現在 18 の学部、多くの大学院や短期プログラムを擁し、学生数は 55,000 人にのぼります。多くの著名人や有名人が排出され、政治、経済等多岐にわたる分野で活躍している。ジョコ・ウィド大統領の出身校としても有名です。大学が所在するジョグジャカルタ市はインドネシア共和国のジャワ島中部南岸に位置するジョグジャカルタ特別州の州都。古くからジャワ島の中心地として栄え、独自の文化を残す観光地。郊外にある 2 つの世界遺産のほか、市内の王宮や市場、博物館などが当時の面影を残す。一方で、学生の街としても有名で、数多くの大学が集中しています。

●担当教員	庄子 萌 (国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊 (2~3 名 1 室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	必要 ※詳細はガイドンスにて案内	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	世界遺産ポロブドゥール寺院遺跡群、世界遺産プランバナン寺院群、クラントン王宮 ラーマヤナ舞踊、ワヤン・クリッ、バティック工房 など		
●食文化の特徴	インドネシア料理は香辛料を利かせた料理が多く、中でも欠かせないのが、サンバル。唐辛子、玉ねぎ、エビのペーストなどから作られ、炒めものから煮込み料理まで、幅広く使われています。		
●過年度テーマ例	インドネシアと日本の食文化の違い、ジョグジャカルタの観光産業、インドネシアの交通事情 インドネシアの人口分布と貧困削減、インドネシアのインフラ整備など。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:ガルーダインドネシア航空 (GA) 【乗継経由地】:羽田空港、ジャカルタ
 【出発】:伊丹空港 (9/07/土 早朝集合予定) 【帰着】:伊丹空港 (9/15/日 午後解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 30 万円 ~ ② 33 万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。

※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。

※ 上記参加費用の基準となる構成 (内訳) や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。

また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 6 万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

- ・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません
- ・ 日本国籍参加者のビザ代行申請に関わる費用はプログラム参加費用に含まれます。

D-6. Global Fieldwork Project 淡江大学 (台湾)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

淡江大学は、台湾の私立大学の中で最古の歴史を誇る総合大学で、国際関係・ビジネス・情報・観光などの様々な学科で全英語課程が実施されるなど、「国際化、情報化、未来化」の「三化」方針を推し進めており、卒業生は、その評価項目の中で、チームワーク、忍耐力、プレッシャー克服力では、トップクラスの国立大学を凌いでおり、競争の激しい就職市場で高い競争力を維持するようになっていきます。大学が所在する台北は、台湾の首都で、日本の植民地時代に整備された車線が通り、賑やかなショッピング街や近代的な建物があ、台湾の経済、政治、文化の中心地です。屋台で食べ物が売られる活気ある風景や、大規模に催される多くの夜市でも知られています。

●担当教員	駒見 一善(国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	出国日までの有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	不要	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	国立故宮博物院、国立中正記念堂、龍山寺、総統府、台北 101、台北忠烈祠、士林観光夜市九份、日月潭、台北 MRT(地下鉄)、台北高速鉄道(新幹線)など		
●食文化の特徴	台湾料理とは、中華料理をベースに台湾独自のアレンジが加わった料理のことをいいます。八角やセロリ、パクチーなどの香りの強い食材や香辛料がふんだんに使われています。		
●過年度テーマ例	台湾のファッション、台湾はなぜ親日といわれるのか、台湾の屋台文化、台湾と日本の文化の違い、台湾の若者文化について、など		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:スターラックス航空(JX)

【乗継経由地】:直行便

【出発】:関西空港(9/01/日 朝集合予定)

【帰着】:関西空港(9/08/日 午後解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●プログラム参考費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 24万円~ ② 27万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替、燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。
 ※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。
 ※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。
 また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 5万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません